

TOPICS & INFORMATION

「STORM Fair」が4年ぶりに復活！全国18センターで特別イベントも

コロナ禍で3年間開催が見送られていたハイ・スポーツ社主催の「STORM Fair」が4年ぶりに復活！5月20・21日の2日間、神奈川・川崎グランドボウルと京都・MKボウル上賀茂の2会場で開催された。



▲「STORM Tour」最終日の神戸六甲ボウル会場(5月24日)

今回はPBAからケンドール・マイルズ、ウェス・マロット、カイル・トゥルーブ、マット・マクニール、チャド・マククリーン、フランソワ・ラポアの6選手が来日。STORM社のテクニカルスタッフとともに、より実践的なボウリングの講習会を行い、川崎会場では近年増えた両手投げに特化した講習も実施された。

また、翌22日からは6選手が2名ずつ3班に分かれ、「STORM Tour2023」と銘打ったファン交流イベントを全国18センターで展開(24



▲神戸会場でチャレンジマッチを行ったF・ラポア(左)とC・マククリーン。同会場のチャレンジには中谷優子・平岡勇人プロ夫妻も参加した(24日)

日まで)。STORM社最新ボールの無料試投会に加え、PBAプロとのチャレンジマッチというレアな体験に、各会場の参加者は大喜びだった。

復活「九州フェスティバル」にプロ・アマ計216選手が参集!

ジャパンレディースボウリングクラブ(JLBC/石井利枝会長)主催の「2023JLBC九州フェスティバル」(JPBA承認大会)が4月21~23日の3日間、宮崎エースレーンに216名(プロ17名・アマ199名)の選手が参加して盛況裡に開催された。同大会はコロナ禍以前に「宮崎プロアマオープン」の前夜祭として行われていたもので、4年ぶりに独立して復活した。

競技はプロ・アマ男女別のシングルス戦(年齢性別ハンデあり)で、予選は1人3G×2Sを投球し、スコアのよい方で総合順位を決定。女子プロ6名、男

子プロ4名、アマは男女各12名の上位者が決勝トーナメント(1Gマッチ)にて覇を競い、女子プロ=進博美(43期)、男子プロ=玉井慎一郎(37期)、アマ女子=山崎典子選手(関大前フタバボウル)、アマ男子=愛甲雅治選手(宮崎エースレーン)がそれぞれ優勝を飾った。

競技終了後には進VS玉井のエキシビジョンマッチも行われ、204:165で玉井が勝利。なお、同大会の様子はYouTube「JLBCチャンネル」にて視聴できます。



▲各部門1~3位入賞者及びアマ男女H/G賞受賞者。後列右端は石井会長(©JLBC)

NBF 西日本&東日本選手権を連続開催

日本ボウラーズ連盟(NBF/白石雅俊理事長)は5月13・14日に山口県宇部市のユーズボウル宇部で「第48回西日本選手権大会」を、翌週の20・21日には青森県弘前市の弘前ファミリーボウルで「第48回東日本選手権大会」を連続開催した。ともに「全日本選手権の前哨戦」と位置づけられる恒例の大会だ。

西日本選手権には男子82名・女子34名、東日本選手権には男子

119名・女子49名の会員ボウラーが参加。競技はいずれもスクラッチのシングルス戦で、男女とも予選9G、準決勝・決勝各3Gの15Gトータルで優勝が争われた。

その結果、西日本選手権は男子・佐藤研一選手(兵庫)が3359、女子・谷口雅美選手(大阪)が3314の高スコアでそれぞれ優勝。佐藤選手は大会初V、谷口選手は3度目の栄冠だった。

翌週の東日本選手権は、北海道の



▲西日本選手権優勝者。大会初Vの男子・佐藤選手は「決勝では気持ちがフワフワしてしまい、自分の投球を見失いかけたが、途中でうまく切り替えることができた」、同V3の女子・谷口選手は「ケガ明けの大会だったので不安もあったが、逆に集中することができた」とそれぞれコメント(©NBF)



▲東日本選手権は保木夫妻がうれしいアベックV。慎吾選手は今年2月の全日本ダブルス選手権に続く優勝、絵里選手は2016年の全日本選手権者だ(©NBF)

保木慎吾・絵里夫妻がアベック優勝。スコアは3452、3314とこちらも高スコアで、11月開催の頂上決戦「第51回全日本選手権」に弾みをつけた。

JPBA シーズントライアル2023スプリングシリーズ 藤永北斗がデビュー戦V! 宮澤拓哉とワンツー

JPBAのシーズントライアル2023スプリングシリーズが5月22・23日に計3会場で開催された。各会場とも予選8G・準決勝4Gを経て上位8名がシュートアウト方式の決勝(1Gマッチ)にて覇を競った。上位入賞者は以下のとおり。

- A会場(5月23日/新狭山グランドボウル=110名参加)
  - 優勝: 藤井 信人(52期)
  - 第2位: 永野すばる(40期)
  - 第3位: 川添 奨太(49期)
- B会場(5月22日/東京ポートボウル=36名参加)
  - 優勝: 藤永 北斗(61期)
  - 第2位: 宮澤 拓哉(61期)
  - 第3位: 斉藤 琢哉(48期)
- C会場(5月22日/神戸六甲ボウル=93名参加)
  - 優勝: 伊吹 太陽(59期)

- 第2位: 吉田 文啓(35期)
- 第3位: 和田 秀和(48期)

今シリーズでは前週の19日にライセンス交付を受けたばかりの男子プロ61期生14名が一斉デビュー。B会場では藤永北斗、宮澤拓哉がワンツーフィニッシュを決めたほか、村上裕一も6位入賞を果たして初賞金を獲得した。



▲昨年の井口遼太に続き、ライセンス交付から3日後にデビュー戦のシーズントライアルを制した藤永。トップシードで決勝に進出し、6位から勝ち上がった同期生の宮澤に208:205で競り勝った

6・22「ボウリングの日」キャンペーンのお知らせ

公益社団法人日本ボウリング場協会(BPAJ/武田竜会長)が毎年6月22日に江崎グリコ株式会社との共催で実施している「ボウリングの日キャンペーン」。今年は「家族ボウリングでとびっきりのスマイル!キャンペーン」と銘打ち、期間中に家族で場協会加盟センターに来場した小

学生以下の子供にオリジナルトートバッグがプレゼントされる(各センター先着80名)。

キャンペーンの詳細はBPAJのホームページにてご確認を。なお、実施期間は各センターによって異なるので、くれぐれもご注意ください。



©BPAJ

トーナメントカレンダー

開催日	大会名	開催センター
〈アマチュア〉		
6月17日(土)~18日(日)	ABBF 第49回西日本選手権	広電ボウル(広島)
6月23日(金)~25日(日)	JBC 第56回全日本シニア選手権	稲沢グランドボウル(愛知)
6月30日(金)~7月2日(日)	JBC 第59回東日本選手権	千歳フジボウル(北海道)
6月30日(金)~7月2日(日)	JBC 第59回西日本選手権	サンライトゾーン(鹿児島)
7月8日(土)~9日(日)	ABBF第50回全国実業団3人チーム選手権	稲沢グランドボウル(愛知)
〈プロ・オープン〉		
6月13日(火)	ラウンドワンGCB2023予選ラウンドH	ラウンドワン南砂店(東京)
6月15日(木)~18日(日)	アイキューホームプレゼンツ2023	アイキューボウル(千葉)
6月28日(水)	ラウンドワンGCB2023予選ラウンドI	ラウンドワン仙台吉竹店(宮城)
7月4日(火)	ラウンドワンGCB2023予選ラウンドJ	ラウンドワン富士店(静岡)
7月7日(金)~8日(土)	第39回六甲クイーンズオープン	神戸六甲ボウル(兵庫)

最新の技術・豊富な経験を持つ **ドリラー 6名在籍**

当センター専属プロボウラー 時本美津子プロ 当センター専属プロボウラー 鈴木 理沙プロ 当センター専属プロボウラー 名和 秋プロ 当センター専属プロボウラー 市原 電太プロ 当センター専属プロボウラー 永野すばるプロ 当センター専属アマチュアボウラー 金子 萌夏

**JR横浜線・相模原駅徒歩2分**  
**相模原パークレーンズ**  
<http://parklanes.jp/> TEL.042-755-1110

オンラインショップのパイオニア **今すぐアクセス**